

年 組 名前

2020年4月22日付中勢版

大きく口開け



モゴモゴと海藻を食べるセレナ。鳥羽水族館提供



①ジュゴン 「セレナ」

ジュゴンは人魚伝説のもとになったともいわれる哺乳類で、沖縄以南の暖かい海にすんでいます。食事は、海藻のアマモやロメイ

ンレタスなどを1日に25キロ。口の周りの筋肉が柔らかく、大きく口を開き、上下のあごにあるしゃく板という器官などを使って、モゴモゴとすりおろすように食べま

す。歯の生え替わりは、ジュゴン以外ではゾウとマナティーだけに見られる「水平交換方式」。人間のように下から生え替わるのではなく、奥から新しい歯が生え、ベルトコンベヤーのように手前へと押し出されます。

雌のジュゴンが見られるのは世界で鳥羽水族館だけ。甘えん坊のセレナは、飼育員になでられるとうれしそうにおなかを見せます。胸びれをくわえるように口に当てるのもかわいい。おなかが減った時によくやっているのだから口が寂しいのかも。

(半田由佳理さん＝顔写真＝談)



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、鳥羽市の鳥羽水族館は5月6日まで、臨時休館している。現在は訪れることはできない水族館の魅力あふれる生き物の中から、飼育員らが選んだ6種を紹介する。(聞き手・高橋信)

※ 大人の^{おとな}の人に^{ひと}記事^{きじ}を読^よんでもら^{かんが}って考^{かんが}えま^{かんが}しょう。

問1: 「大きく口開け 」の には、食^たべる^{ようす}様^{あらわ}子を^{ほんぶん}表^{ほんぶん}す本^{ほんぶん}文^{ほんぶん}

中^{ちゆう}の^{ことば}言^{ことば}葉^{ことば}が入^{ことば}りま^{ことば}す。ど^{ことば}んな^{ことば}言^{ことば}葉^{ことば}で^{ことば}し^{ことば}ょう^{ことば}か。

()

問2: 小^{ちい}さな^{さかな}魚^{さかな}は^{ことば}ジュ^{ことば}ゴン^{ことば}に^{ことば}ど^{ことば}んな^{ことば}言^{ことば}葉^{ことば}を^{ことば}か^{ことば}け^{ことば}て^{ことば}い^{ことば}る^{ことば}で^{ことば}し^{ことば}ょう^{ことば}か。

吹^ふき^だ出^だし^だに^だ入^だる^だ言^{かんが}葉^{かんが}を^{かんが}考^{かんが}え^{かんが}ま^{かんが}しょう。

【活用にあって】

ジュゴンの「セレナ」は、どのようにえさを食べているのでしょうか。

- ・ モゴモゴと食べる。
- ・ モグモグと食べる。

口を動かす様子を比べてみましょう。どうでしょうか。モゴモゴは、モグモグと比べて、口の動きが少ないように感じませんか。食べるのも遅いように感じられます。「すりおろすように」食べるセレナの様子が見えてきます。

擬声語や擬態語のおもしろさに着目させることで、語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもたせたいと思います。

解答例

問1：モゴモゴ

問2：「おいしそうだね」とか「25 扣も食べるのかい。お腹こわさないでね」など、楽しく想像させたいですね。